

武庫川もう一つの源流

篠山市天神川

第5回武庫川エコハイク

070804 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²・篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

武庫川の源流 武庫川は篠山市を源流とするが、普通には田松川の谷中分水界、あるいは真南条川の上流愛宕山に求められる。もう一つは古市の西の松尾山と白髪岳周辺の谷から天神川が流れ出し、古森で武庫川に合流する。

古市宿 古くから栄えた宿場町。くらがり街道が通る。かつては杜氏たちが朝早立ちしてここを通ったという。

宗玄寺 赤穂義士の一人不破数右衛門の父母と数右衛門の二児が身を寄せていた寺で、吉良家討ち入りの前それとなく暇乞いに来た数右衛門に母から白無垢の襦袢を渡された数右衛門は討ち入りの際これを着て参加したという。毎年12月14日には義士祭が行われる。

蛭子(えびす)神の伝承 蛭谷にあった天然石の蛭様が盗まれて大和の丹波市(たんばいち今の天理市)に移り、その後取り返したが、大和の丹波市は大変繁盛したという。宗玄寺前の蛭神社に祀られる。

道標と道路元標 古市宿を西に行くと大阪道と播磨道の分岐の道標がある。文化14(1817)年の銘がある。「左たんば・但馬」「右いせ道右はりま・左大坂はりま」隣に古市村の道路元標がある。これは大正年間に全国の各村に設置が義務付けられ村の中心部に設置された。

不来坂(こぬさか) 源義経は寿永3(1184)年平家追討のため京を発ち、丹波街道を播磨三草山に向かい急走した。途中峠に平家が待ち伏せしていると考えたが、一兵もおらず、「平家来ぬ坂(不来坂)」といったと伝えられる。

水害復旧の碑 平成公園内にある。昭和58(1984)年9月28日台風10号に伴う集中豪雨で天神川流域は甚大は被害を受けた。住山地区で山腹崩壊4箇所、橋流失10箇所、床上浸水6戸、床下浸水30戸が被害を受けた。災害復旧は昭和60年に完成した。

復旧の碑には「春水四澤満」とある。

住山 住山の名前は谷の奥にあることから「隅山」から来たという。

集(つどい・住山) 不来坂から天神川に沿って道を右にとると住山があり、中に「集」という集落がある。ここは義経軍が兵を集めたことからこの名が残っているという。すぐ西に三草山に向かう「集坂」がある。

平家の尼の歌 平家が敗れた後残されて尼になり住山の里に移り住んだ人の歌が残っている。

恋しくば 尋ねても来ん 白髪岳 隠れはあらし 住山の里

白髪岳、松尾山登山口 ワン谷川(左股)と寺谷川(右股)との合流点が登山口であり、案内図がある。

寺谷川 松尾山の山中から流出する谷。

不動の滝 不動明王の滝ともいわれ、不動の行者たちがこの滝で心身を浄めていたという。落差約25m、2段に落ちる。

本堂跡 大化元年、法道仙人により開基された高仙寺の跡、現在ただ一つの建物愛宕堂がある。高僧のものと思われる墓碑や石造物群がある。

卵塔群 僧侶の墓碑、大小さまざまな形の無縁塔(卵塔)が40数基。

仙の岩 仙人岩ともいわれ、法道仙人が岩上で王城を加持し、四海の民家の安寧を願ったといわれがある。法道仙人はここで聖観音を彫ったという。一枚の巨岩、側面に人の足跡らしきものが彫られ、馬の背の岩盤はだるま型の巨大な岩峰。東側の眺望が開ける。

千年杉 樹齢数百年、樹幹は三抱え半ある。

山城跡 松尾山頂(687m)。山頂は平らで城跡、熊笹の中に城石がある。酒井主水介氏治の城跡である。

高仙寺跡 大化元(645)年法道仙人により開創されたという。天台宗丹波三山の一つとして全盛期には本堂はじめ、阿弥陀堂、不動堂、勝軍地藏堂、妙見堂などのほか塔頭寺院が26坊を数えた。文保寺と合わせて山岳仏教の修行地であったという。大正10(1921)年、現在の南矢代の国道176号線沿いの地に移転している。

法道仙人 法道仙人はインドから渡来し鉢を持って供養を受けていたので「空鉢仙人」と呼ばれた。播磨の国をはじめ篠山市から三田市北部の寺院の多くは法導上人の開創といわれる。龍蔵寺、文保寺、弘誓寺、高蔵寺(以上篠山市)、蓮花寺、観福寺(以上三田市)などで県下に110ヶ寺あるという。法道仙人にはいくつかの伝承が知られる。

肩越えの辻 松尾山から白髪岳に向かう平らな鞍部にある。北側の文保寺、東側見内等に下る道が分岐する。

ワン谷川(鰐谷川) 白髪岳と松尾山の間の谷をいう。

親水池 ワン谷川の最上流に治山ダム2基が設けられ、親水池として利用されている。治山ダムは谷川の土砂が流出して両側の山腹が崩壊するのを防止するために設けられる。

白髪岳(参考) 旧丹南町の最高峰、標高722m。山頂は岩場で周囲の展望良。春にタムシバが咲き乱れるので白髪に見えるとか、頂上周囲が岩場のため白髪に見えるといわれる。

椿の純林 ワン谷の両側斜面には椿の純林が点在している。

桜公園 ワン谷川の桜(?)橋下流にソメイヨシノが植栽されており、花の時期は人で賑わう。

鹿物語(伝承) ワン谷に住む獵師与作が雌鹿を撃ったところ、その雌鹿が死ぬ間際に力を振り絞って1頭の小鹿を産んだ。その健気さに心を打たれた与作はそこに子安地藏を建て母鹿を弔った。それを期に獵師をやめ、小鹿を一生懸命に育て山に帰したという。いま子安地藏は八幡神社に祀られている。

八幡神社 住山の鎮守。

そば屋「一眞坊」 住山集落に「断ち切りそば」を売り物にする鄙びたそば屋「一眞坊」がある。営業時間は11時~15時。庭で水車が回る。